You, Unlimited

Ryukoku University

RIPC News Letter

龍谷大学知的財産センターニュースレター

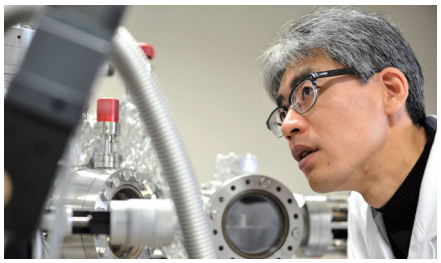
No.20　発行日：2024年4月25日

ご報告　2023年度 龍谷大学特許等出願、特許等成立状況

2023年度は、11件の研究成果を特許出願し、1件の実用新案登録を出願しました。また、これまでに出願していた発明等案件の中で、8件の特許権と、1件の実用新案権が成立しました。

＜特許等出願状況＞

No	代表発明者等	出願番号	出願日	出願種別
1	農　学　部　田邊公一　教授	実願2023-001319	2023.04.19	単独出願
2	農　学　部　森泉美穂子　教授	特願2023-077323	2023.05.09	共同出願
3	先端理工学部　青井芳史　教授	特願2023-078690	2023.05.11	共同出願
4	先端理工学部　大柳満之　教授	特願2023-122325	2023.07.27	共同出願
5	先端理工学部　岩澤哲郎　教授	特願2023-140298	2023.08.30	単独出願
6	先端理工学部　内田欣吾　教授	特願2023-178233	2023.10.16	単独出願（分割出願）
7	先端理工学部　山本伸一　教授	特願2024-001099	2024.01.09	単独出願（分割出願）
8	先端理工学部　山本伸一　教授	特願2024-026619	2024.02.26	単独出願
9	先端理工学部　山本伸一　教授	特願2024-026620	2024.02.26	単独出願
10	先端理工学部　浅野昌弘　講師	特願2024-048202	2024.03.25	単独出願
11	農　学　部　石原健吾　教授	特願2024-056272	2024.03.29	共同出願
12	先端理工学部　大柳満之　教授	特願2024-057775	2024.03.29	共同出願



＜特許等成立状況＞

No	代表発明者等	特許番号等	登録日	出願種別	発明等の名称
1	先端理工学部　青井芳史　教授	第7266798号	2023.04.21	共同出願	電気二重層キャパシタ
2	先端理工学部　山本伸一　教授	第7292703号	2023.06.09	単独出願	可視光応答性バナジン酸ビスマスの製造方法
3	農　学　部　田邊公一　教授	第3242466号	2023.06.12	単独出願	簡易フナズシ製造キット（実用新案）
4	先端理工学部　石崎俊雄　教授	第7307449号	2023.07.04	単独出願	アクティブロードプル測定システム
5	先端理工学部　石崎俊雄　教授	第7376059号	2023.10.30	単独出願	スイッチ切り替え型可変容量、スイッチ切り替え型可変容量の設計方法、及びインピーダンス整合回路
6	農　学　部　佐藤　茂　教授（出願時）	第7382053号	2023.11.08	単独出願	根系形成促進剤
7	先端理工学部　内田欣吾　教授	第7427240号	2024.01.26	単独出願	表面構造体、およびそれを用いた液滴の回収方法
8	先端理工学部　大柳満之　教授	第7438501号	2024.02.16	共同出願	アルミナージルコニア混合材料及びその製造方法
9	先端理工学部　山本伸一　教授	第7461635号	2024.03.27	単独出願	構造体およびその製造方法

ご報告　簡易フナズシ製造キットを開発し、知的財産に!!

鮒ずしは滋賀県に古くから伝わる郷土食であり、米と塩漬けした鮒を乳酸発酵させて作られます。鮒ずしの発酵過程を詳細に研究するためには、温度管理が欠かせませんが、樽を使った従来からの調製方法では、30Lの樽に鮒20匹、米4升程度を用いるのが最小量であり、保温庫内での厳密な温度管理や複数の実験条件の検討などは不可能でした。農学部食品栄養学科・田邊教授の研究室では、 鮒ずし製造の最小化を検討してきた結果、一匹の鮒を食品保存用の圧縮袋内で発酵させ、樽で漬けたものと変わらない出来上がりの鮒ずしを調製することに成功しました。この方法では、小規模な保温庫内で一定の温度条件で発酵を進めることができるため、鮒ずしが完成するまでの期間を半分程度（3カ月）まで短縮することができました。また、複数条件での実験を少ない材料で一度に実施することも可能です。この実験手法を「簡易フナズシ製造キット」として2023年6月に実用新案登録しました。このキットが市販化され、鮒ずし作り体験を通して、滋賀県の発酵食品に対する関心が高まることを期待しています。

ご報告　大学単独出願特許の権利化状況

2018年度から、ライセンス先が無い単独出願について、発明者が権利化を希望し、権利化を行うことの妥当性が特に認められる場合には、大学が費用負担して権利化を推進することとなりました。

発明者の申請に基づき、「特許性」「実用性」「独創性」を指標として絶対評価で審査され、2023年度（2021年度分単独出願分）は3件選出されました。今後の社会実装への期待が高まります。

代表発明者	出願番号	発明の名称
先端理工学部　内 田 欣 吾 教授	特願2022-013235	樹脂製表面構造体、およびその製造方法
先端理工学部　内 田 欣 吾 教授	特願2022-018020	白色発光可能な新規化合物と白色蛍光組成物
先端理工学部　岩 澤 哲 郎 教授	特願2022-049776	ジベンゾ[g,p]クリセン誘導体とその製造方法（国内優先権主張出願）

ご報告　知的財産セミナー

知的財産センターでは、知的財産活動の啓発に努めており、その一環として学生・教職員を対象とした知的財産セミナーを開催しています。弁理士法人ととせ・ももとせ 代表 齊藤整先生を講師として、前期は「企業間における公正な競争と知的財産～自由競争と不正競争の違いを探る～」、後期は「SNSに潜む著作権侵害」と題してご講演いただきました。

学生からは「身近に潜む知的財産に関する法律が曖昧だったものが、今回でかなり理解できた。SNS上でラインを超えないような使い方をしていきたいと思った」「知的財産の基礎から身近な事例まで取り扱っていてとても興味がわいた」といった感想が多数寄せられ、参加者を惹きつける満足度の高いセミナーとなりました。

2024年度も引き続き、知的財産セミナーを開催する予定です。

詳細が決まり次第、お知らせしますので、関心のある方はぜひご参加ください。

知財トピックス　副センター長のご挨拶

知的財産センターは、2005年に発足しました。主に理系の先生方の研究成果や発明を知的財産権として権利化し、使いたい企業等を見つける技術移転活動を行っています。また、本学の学生・教職員に、知的財産に関する理解を深めてもらうことを目的とした「知的財産セミナー」を開催しています。

大学の理系学部においては、研究成果が知的財産権に直結するケースも多く、特許は研究者にとって重要な業績の一つであり、モチベーションの一つでもあります。このたび、センターのサポートによって「フナズシ作製キット」の実用新案登録をさせていただきました。最初は、膨大な量の書類を準備するのだろうと身構えておりましたが、実際には教員側で準備する部分はそれほど多くなく、あっさり登録できてしまったという印象です。このキットは、もともと研究のために開発した実験手法でしたので、当初はあまり重要性を感じておりませんでした。しかし、付き合いのあった水産加工業者から、「ぶっとんだ話だけど、こんなものが世の中に広まったら面白い」と言っていただけたのがきっかけで、権利化と市販化の可能性について考えるようになりました。理系研究者にとって、論文投稿、学会発表が研究成果を形にする主な手段ですが、そのような形になりづらいものの中にも、権利化の可能性を検討すべき「ネタ」が眠っているのかもしれません。日々、教育・研究に多忙な日々を送られている教員の方々におきましても、「これはもしかしたら行けるかも？」という案件がありましたら、権利化の可能性について知財センターにご相談していただければと思います。

知的財産副センター長　田邊 公一

RYUKOKU UNIVERSITY
Ryukoku University
RIPC News Letter
No.20
（知的財産センターHP）
編集：知的財産センター事務部
https://chizai.seta.ryukoku.ac.jp/
問い合わせ先：
瀬田学舎 REC ホール 1F/内線 7270